The39th
Passenger Cars & Motorcycles
TOKYO MOTOR SHOW 2005

News vol.10 平成17年10月29日
第39回東京モーターショー2005 Passenger Cars & Motorcycles 乗用車・二輪車

"Driving Tomorrow!" from Tokyo みんながココロに描いてる、くるまのすべてに新提案。

「小さなクルマ」で「大きな未来」を演出

SUZUKI

「小さなクルマ、大きな未来」――スズキの経営理念を表すテーマは不変だが、ショー展開は前回（第37回）から一新した。

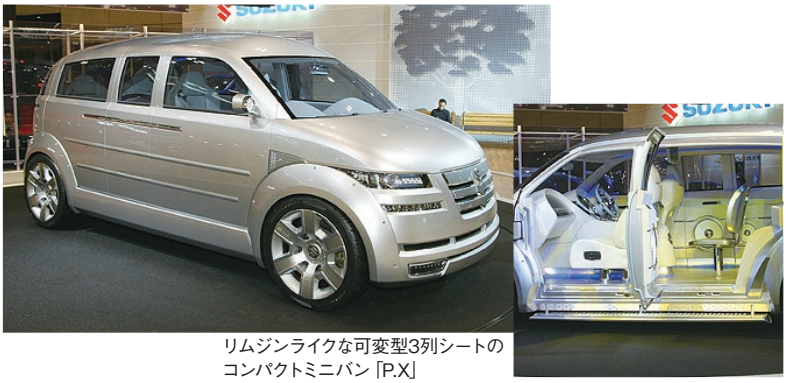
「スズキタウン」と名付けた、人と車を中心とした明るく楽しい未来の街を表現したブース全体のレイアウトが、まず今回の大きな特徴。あちらこちらにベンチや木陰のハンモック、花壇などを模したオブジェが点在する中に、「今回は出展台数を抑えて、1台1台の魅力を来場者にじっくり味わって頂きたい」（鈴木修会長）とする出品車両がゆったりと配置されている。実車を眺めながら、「走る」、「使う」、「持つ」ことを身近に連想してもらおうという巧みな演出だ。

展示台数は軽自動車、小型車合わせて17台。参考出品車9台のうち、ワールドプレミアが4台。中でもスズキ初の3列シート・コンパクトミニバン「P.X」、軽サイズの燃料電池車「IONIS」、レトロタッチな2シーター軽セダン「LC」は、それぞれが強烈な個性を主張するコンセプトモデルで、未来へ向けてスズキがめざすいくつかの方向、例えばセグメントされた小型車市場へのアプローチ、軽乗用車の用途拡大の方向や軽の特性を生かした環境・エネルギー対応のあり方などを鮮明に情報発信している。

市販車中心のゾーンには、スズキの現在の小型車路線を明確に位置付けているリアルスポーツコンパクト車「スイフトスポーツ」とザ・ネイチャーマシーンと銘打ったコンパクトSUV「エスクード」を出品。「スイフトスポーツ」の1台はレカロシート仕立てなどのメーカーセットオプション装着車（12月12日発売予定）、「エスクード」の3ドア車は欧州市場投入などを予定している輸出仕様車。このコーナーには今年5月のFIAジュニア世界ラリー選手権（JWRC）第5戦でデビューし、いきなり3位表彰台をゲットしたレースカー「スイフト スーパー1600」も参考出品されている。

明るく楽しい未来の街―スズキタウン

「まいにち、ちょうどいい」がキャッチフレーズの「LC」



リムジンライクな可変型3列シートのコンパクトミニバン「P.X」

スズキのブースでは、ステージに乗って、「P.X」、「IONIS」、「LC」などのワールドプレミア・コンセプトモデルが順繰りにスポットを浴び、来場者に紹介される。

もっとも人気を集めているのは「LC」だ。スズキの昭和40年代の人気車種「フロンテ」を彷彿とさせる、丸い軟らかなボディシルエットの2シーター軽乗用車。「LC」のネーミングは「ライフ　クリエーター」の頭文字から採っているが、「フロンテLC10」の型式名ともダブらせている。

エクステリア、インテリアの全てに“クルマと人とのパートナー感”を追求したコンセプト車で、運転から洗車まで大切な人と2人で楽しく行動するのに「ちょうど良い」サイズと装備を具現している。丸目のヘッドランプやチェック柄のシート、トリム類など、どこをとっても愛らしく、運転席と助手席の距離を狭めた小さな室内空間から“大きな幸せ”が生まれそうだ。パワーユニットは660cc・3気筒DOHC、4速ATのFF2WD車となっている。

一方、あくまで“男のこだわりのプライベート空間”を求めた「P.X」は、圧倒的な存在感のあるラウンドフォルムで、大迫力のフロントフェイスや3,000mmのロングホイールベースと20インチ大径タイヤ、金属感の高い車体色などによって男性的な強力な塊（かたまり）感を放っている。

室内は上質でラグジュアリーな空間。3列シートの2列目を1列シート背面に付ければ、リムジンライクなゆとりのある2列シートレイアウトになるのが大きな特徴だ。3列目はラウンジシートで、大型アームレスト、グラスホルダー、フットレストを装備、専用15インチワイドモニターと大口径スピーカーで素敵な映像や音楽を楽しむこともできる。

自分ひとりで、あるいは友人や家族と共に“オレ流エンジョイフルな時間”が出現する。1,995cc水冷4サイクル直列4気筒DOHC16バルブのパワーユニットを搭載。

「IONIS」は、省資源、省エネに優れた軽自動車に燃料電池を搭載することで、環境対応の社会的要請に応えようというスズキならではの提案車。

“ガソリンエンジン・燃料電池の混在時代”を見据えて、両方のパワーユニットが搭載できる共通プラットフォームに、バイワイヤー技術を駆使して室内レイアウトの自由度を広げるなど見るべきところが数多い。

ワールドプレミア出品では、他に今年末にも発売が予想される次世代MRワゴンのコンセプト車「Mom's Personal Wagon」が展示されている。

軽燃料電池車「IONIS」。人間工学を生かした近未来インパネは武蔵野美術大学との共同開発

人気の「スイフト　スポーツ」の展示

小さな子供とお母さんのための軽ワゴン「Mom's Personal Wagon」

ブリーフィング コラム

「走る喜び」、「使う楽しみ」、「持つ幸せ」の提供に新たな挑戦

スズキ
津田　紘 社長

スズキは現在、年間200万台を超える四輪車を世界で生産しております。国内市場では2004年度に年間67万台、このうち軽自動車は60万台を販売して、32年間にわたって軽の年間販売台数第1位を続けることができました。

このスズキの得意とする「小さなクルマ」は、生活に密着した乗り物としてお客様に「走る喜び」、「使う楽しみ」、「持つ幸せ」を提供するため、新たな挑戦を続けてまいります。

今回のモーターショーでは、コンセプトモデルの展示にとどまることなく、ブース全体が人と車を中心とした「明るく楽しい未来の街―スズキタウン」という展開で、お客様を迎えたいと思っています。

ゼネラルモーターズ ハイパワーモデルを中心にアメリカ車の魅力をアピール

欧州市場を視野に入れた新セダン、キャデラック「BLS」

505ps エンジンを搭載するシボレー「コルベット Z06」

燃料電池車「GM シークエル」

ゼネラルモーターズブースでは、キャデラック、シボレー、ハマーの3ブランドがまとめて展示されており、アメリカンテイストをたっぷり味わうことができる。

キャデラックのスポーティな前輪駆動の4ドアセダン「BLS」は、アジア初公開モデル。キャデラックのセダンモデルの特徴である直線基調のデザインが目を引く。「STS-V」はV8スーパーチャージャー、469psエンジンを搭載したスポーツサルーンだ。シボレーはスーパースポーツ「コルベットZ06」を日本初公開。7リッターV8、505psエンジンを搭載し、内外装もモディファイを受けた展示車の存在感は抜群だ。

ほか、GMブランドの燃料電池コンセプトカー「GMシークエル」がジャパンプレミアとして展示。超大型オフロード4WD「ハマー」シリーズは、岩山を模したジオラマを使い、オフロード性能の高さをアピールしている。

オペル 日本にも投入予定の新型車がそろい踏み

油圧オープントップを採用した「アストラツイントップ」

新エンジンも搭載される「シグナム」2006 年モデル

オペルは3台のジャパンプレミアを主体とした展示で来場者を迎えている。「アストラツイントップ」は、欧州で流行しているコンパクトなカブリオ（オープン）・クーペの新型モデル。油圧作動によって開閉する3分割ルーフ「リトラクタブル・スチール・ハードトップ」を備え、気軽にオープンエアを楽しむことができるツアラーだ。

ミドルクラスハッチバックの「シグナム」2006年モデルも登場。新たに2.8リッターV6ターボ、250psエンジンを搭載し、動力性能を強化。日本にも投入される予定である。ミニバンの新型「ザフィーラ」はアジア初公開。全長4.5m弱というコンパクトサイズのなかで、きわめて良好な居住性を持たせているのが特徴。近日発売を前にしたプレビューだ。

サーブ スポーティなセダン、ワゴンモデルが一堂に

完成度の高いデザインをもつ「9-3 スポーツエステート」

顔つきが大きく変わった「9-5 セダン」2006 年モデル

サーブは2台のジャパンプレミアを含む4台を出展。同社初のミドルクラスワゴン「9-3 スポーツエステート」はボディ後半をワゴン専用デザインとし、まとまりのよいフォルムに仕立てられているのが特徴。パワフルで、かつクリーンな排ガスの2.8リッターV6ターボエンジンも用意される。

「9-5 セダン」は2006年モデル。フロントマスクをはじめ、エクステリアの意匠を大胆にチェンジしての登場だ。Aピラーから前を新設計するなど、シャーシも改良され、走行性能、快適性ともに引き上げられている。

アストン・マーティン

魅惑の超高級スポーツカー3台

「V8ヴァンテージ」

伝統ある高級車メーカー、アストン・マーティンは3台のスポーツカーを展示。目玉は今夏に発売されたばかりという、美しいワインレッドの2シーター「V8ヴァンテージ」。サーキットを全開走行できるポテンシャルとデイリーユースにおける実用性を両立させている。

TOPICS トピックス

「焼きたてパン」が大人気
売店の「ニューウェーブ」

「ふっくらとした焼きたてのパンはいかがですか」――中央モール西側の売店「ニューウェーブ」の焼きたてパンが人気を呼んでいる。会場内に大型のオーブンを設置して焼き上げているが「多少時間がかかるため、品切れ状態の時もあって、お待たせすることもある」（経営者の的場誠之さん）というほどよく売れているそうだ。「ニューウェーブ」の売店では、焼きたてパンのほかに、お弁当、キャラメルポップコーン、各種ドリンク、インスタントカメラなどの食料品・雑貨を中心に販売中。東京モーターショーでは1989年に幕張メッセに移ってから毎回出店しているという“老舗”でもある。

JT コーナー
においの少ないタバコを実車体験

「D-spec」の実車体験同乗

JTが西休憩ゾーンにあるJTコーナーで、「D-spec」（シリーズ）と名付けた、「においが少なく、いい香り」のするタバコの実車体験キャンペーンを行っている。中でD-specを吸った車と他のタバコを吸った車、それぞれに乗ってみて、その違いを体験してもらおうというもの。参加者には芳香剤の記念品がもらえるからお得だ。

また、中央モールに3ヵ所ある喫煙コーナーでも常時16人のキュートなキャンペーンガールがD-specのタバコを一箱プレゼント付きで、丁寧に応対説明してくれる。それにタバコに関するアンケートに協力すれば500円分の音楽ギフト券か図書券（図書カード）も後日送ってもらえる。

プライオリティシート&バリアフリー
高齢者に好評の“くつろぎの空間”、身障者にも配慮

スロープで車いすもスムーズに

高齢者・身障者の優先席

低いカウンターもあるインフォメーションプラザ

東ホールから西ホールを抜けるまで全長約520メートルもある広々とした東京モーターショーの会場。展示ブースを歩き疲れた来場者がゆっくりと休憩できるよう、各ホールやモールなどには“くつろぎの空間”を随所に設けている。今回はプライオリティシートを600席に増やし会場各所に前回と同規模の1万600席のベンチを配置。特に高齢者や乳幼児連れのファミリーに好評だ。

一方、来場者の総合案内として、会場内にあるインフォメーションプラザや南休憩ゾーンにある南救護所では、車いすやベビーカーの来場者でも気軽に利用できるよう入口の段差をなくしてスロープを設けている。また、プラザの受付カウンターは通常の高さに加え、背の低い子供や車いす来場者にも対応できる高さのカウンターも用意した。会場では身障者対応エレベーターの増設も含め、ユニバーサルデザインに配慮している。

来場者に聞く
お気に入りは「先駆」と「フォーリア」

ミタ・フィリップスさん
（米国在住・デザイナー）

米国・カリフォルニアで服飾、インテリアなどのデザインを手がけているミタ・フィリップスさん。米国や豪州など、多くのモーターショーを見学してきたが、東京モーターショーは初めてという。

「未来を示すコンセプトカーや、米国で販売されていない日本車に興味がありました」というミタさんのお気に入りは、マツダ「先駆」と日産「フォーリア」の２台のコンセプトカー。「『先駆』はフォルムが美しく、また強いテーマ性がある。『フォーリア』はモダンとレトロのバランスが非常によく取れている」と、デザイナーならではの視点で論評していた。

VIP来場　2005年10月28日（金）

ケニア共和国　デニス・N・O・アウォリ特命全権大使

今日のイベント（予定）　2005年10月29日（土）

＊シンポジウム（事前登録者優先）
14：00～16：00　目からウロコ!エコドライブってとっても簡単・発見・驚き（国際会議場2階・国際会議室）

＊トラフィック戦隊アンゼンジャーショー
10：30～11：10
12：45～13：20
15：30～16：10
フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

＊トライアルデモンストレーション
11：20～11：50
14：55～15：25
フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

＊YOSAKOI鳴子踊り
12：00～12：30　フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

＊交通安全トークショー&ライブ
13：35～14：20　フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

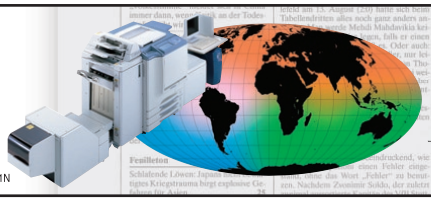
＊交通安全トークショー
16：20～16：50　フェスティバルパーク（西休憩ゾーン）

＊クリーンエネルギー車同乗試乗会
10：30～16：30　特設専用コース（幕張海浜公園内　メッセ周辺公道）

＊少年少女モーターサイクルスポーツスクール
10：00～12：10
14：00～16：10
特設専用コース（中央休憩ゾーン特設会場））

※天候等の都合により予定が変更になる場合があります。

KONICA MINOLTA



ON DEMAND PUBLISHER C-51N

The essentials of imaging

ご存知ですか？
コニカミノルタ オンデマンドプリントシステムは、
世界56ヶ国の主要新聞276紙をサポート。

このニュースは コニカミノルタ ON DEMAND PUBLISHER C-51N で出力しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社
ODI事業部
TEL 03-5205-7820
Email odi-info@bj.konicaminolta.jp
URL http://www.ebook-print.com

TOKYO MOTOR SHOW 2005

10月28日の入場者数　63,600人
入場者数累計　532,100人

東京モーターショーニュースVol.10　2005年10月29日発行
発行所　社団法人 日本自動車工業会 広報室
〒105-0012　東京都港区芝大門1丁目1番30号　日本自動車会館
TEL.03-5405-6119　FAX.03-5405-6136
WEB SITE www.tokyo-motorshow.com

JAMA